



平成30年度が始まりました

4 月 6 日の始業式・入学式からほぼ、1 か月が過ぎようとしています。

入学式では、期待に胸膨らませた新 1 年生 33 名を迎え、全校児童 268 名の勢和小学校の新年度がスタートしました。

まだ、ひと月もたっていないのですが、1 年生の子どもたちは朝から元気な声で「おはようございます」とあいさつをしてくれますし、授業を初め、給食や掃除など様々な学校生活にどんどん慣れ、もうすっかり「勢小っ子」になっています。子どもたちの適応力に改めて感心しているところです。

本年度の学校教育目標について

さて、先日の PTA 総会でもお話をさせていただきましたが、本校では学校教育目標「生き生きとひとみ輝く 勢和の子」の副題に、「やってみて考え 考えて行動する子どもが育つ学校」をめざして取り組みを進めています。

- 「まずやってみる」…基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 「やってみて考え 考えて行動」…課題を解決するための思考力・判断力・表現力等
- 「やってみて考え 考えて行動」で深い学び…繰り返し主体的に学習に取り組む態度

このような取り組みは、教科の学習の場だけでなく学校生活すべてを学びの場と考えています。中でも大切にしたいのは人と人との関係です。例えば、仲間関係がとてもいい学級・先生とのよい関係ができている学級の子どもたちは、ほとんど例外なく「勉強が楽しい」「勉強がよくわかる」といいます。何のために学ぶのか…？それを深く考えていくと、学びの始まりは「人」からであり、学びの最終目標も「人」ではないでしょうか。

一方で、32 年度から本格実施になる「外国語活動・外国語科」の内容を、本校では、移行措置が始まる本年度の段階から、前倒しでカリキュラムに入れることにしました。

また、県より「『わかる授業』確かな実践事業」の指定をもらい、今年度は 5 年生の算数において、新しい試みとして習熟度を考慮した指導法の実践研究に取り組む予定です。

これらの取り組みにしても、人と人とのよい関係の中で、子どもたちが「学ぶことの楽しさ」を感じるようにすることを基本にしていきたいと思います。

家庭・地域との連携を大切に、本校教育の推進に全力で取り組んでいく所存ですので、どうかご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

